

## 評価基準

評価の視点	評価項目	評価指標	配点	評価	
				評価基準	採点
実施体制評価	実践力	業務実績	過去3箇年以内に、国又は地方公共団体もしくは大学等の同種及び同規模の業務を受託し、履行した実績があるか。	15	同種及び同規模の実績が2件以上ある
					同種及び同規模の実績が1件ある
					実績がない
	体制評価	運営体制	全ての業務を安定的かつ確実に遂行できる運営体制（指揮命令系統、配置する人員の確保状況、配置する人員の知識・経験・ノウハウ等）となっているか。	10	業務に十分な運営体制を構築しており、確実な業務の遂行が期待できる。
					業務に必要な運営体制を構築している
					運営体制が不十分である
	運営の適正性	業務管理体制	県と、円滑かつ迅速に各種連絡・報告や情報共有等をするためのコミュニケーション管理手法が提案されているか。	10	県と、円滑かつ迅速な情報共有が可能な体制が提案されている
					県との連絡に必要な体制が提案されている
					県との連絡に必要な体制が不十分である
	運営の適正性	情報セキュリティ対策	応募者等の個人情報について、適切に管理できる情報セキュリティ対策が講じられているか。	15	情報セキュリティ対策が講じられ、それが周知徹底されている
					情報セキュリティ対策が講じられている
小計 (※基準点 26 点)			50		

評価の視点	評価項目		評価指標	配点	評価基準	採点			
事業計画評価	業務理解度	目的・内容の理解度	事業目的及び事業内容を理解し、看護職員修学資金管理業務の効率化につながる内容となっているか。	10	事業目的及び事業内容が十分に理解され、仕様書に記載以上の記述がある	10			
					仕様書と同程度の記述がある	5			
					業務の理解が不足している	0			
	(1) 事業スケジュール		本事業が円滑に進むためのスケジュールが具体的に示され、そのスケジュールは適切か。	10	記載内容が適切かつ工夫されており、効率的なスケジュールとなっている	10			
					記載内容が適切であり、標準的なスケジュールとなっている	5			
					事業スケジュールの記載がない	0			
	(2) 機能要件の実現		機能要件への適合度が十分であるか。	10	機能要件を十分に満たしたうえで、業務の効率化に寄与する独自の機能を実現している。	10			
					仕様書に即した妥当な提案である	5			
					提案内容が不十分である	0			
	(3) システムの操作性		視認性や応答速度等の操作性について十分に配慮されているか。	5	仕様書記載の要件を十分に満たし、申請者側・県側いずれからも満足のいく操作性が見込まれる。	5			
					仕様書に即した妥当な提案である	3			
					提案内容が不十分である	0			
	(4) システムの信頼性		信頼性要件、継続性要件、SLAとして仕様書に記載した基準を達成できるか。	5	仕様書記載の要件を十分に満たし、特に継続して安定的な稼働を見込むことができる	5			
					仕様書に即した妥当な提案である	3			
					提案内容が不十分である	0			
	その他	経費見積もりの妥当性	経費見積もりは妥当であるか。	10	積算に妥当性があり、かつ経費も抑えるなど工夫がみられ、適切な経費が見積もられている	10			
					積算に妥当性がある	5			
					積算に妥当性を一部欠いている	1			
小計 (※基準点 26点)				50					
計				100					

※評価の視点（「実施体制評価」及び「事業計画評価」）ごとに評価基準の中間の項目の採点の合計点を基準点とする。